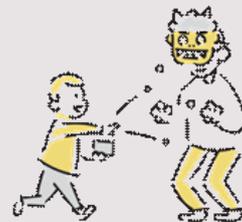


令和7年度 児童相談所関連研修

児童福祉司（応用）Ⅱ



日時

令和8年2月10日（火）・20日（金）

9時から17時まで（途中昼休憩等あり）

対象

児童福祉司、こども家庭センター職員、
子ども家庭福祉・母子保健等に携わる職員

※虐待対応の実務経験があり、基本的な用語、法制度等をおおむね理解できている職員

場所

特別区職員研修所（東京区政会館別館）（千代田区九段北1-1-4）

カリキュラム



日時	教科目・講師
2月10日（火） 9:00～17:00	<p>○「聴く」ことから再考する－当事者支援・多機関協働のヒント</p> <p>午前は、保護者との関係構築に焦点を当てます。基本的な面接技法をいくつか体験的に振り返りをした後、リフレクティング・プロセスといった「聴く」を再考する手法を体験し、実践の質の向上に活かせるか考えてみましょう。午後は事例検討を深める手法をご紹介します。基本的にはシートに書き込みながら事例検討を進めますが、目的の異なる二つのやり方をご紹介します。</p> <p>《講師》長沼 葉月 氏</p> <p>東京都立大学 人文社会学部、同大学大学院人文科学研究科 教授 学校や民間の相談室、スクールソーシャルワーカーなどの経験があり、児童思春期のメンタルヘルスと家族支援、ソーシャルワーク面接技法、多機関・多職種連携のための方法論の開発などをテーマとした研究に数多く取り組まれる。精神保健福祉士、公認心理師。著書に『これからの子ども家庭ソーシャルワーカー』（分担執筆、ミネルヴァ書房）など他多数。</p>
2月20日（金） 9:00～17:00	<p>○バリエーション豊かな面接を目指して</p> <p>家族支援において、パートナーシップを築き、相手に合わせた面接や幅のある柔軟な面接ができるように、演習などを通して実務における臨機応変な対応力向上を目指します。</p> <p>《講師》笹川 宏樹 氏</p> <p>同志社大学 心理臨床センター 特任指導員 奈良県に心理判定員として入職後、児童相談所、県庁児童福祉課、知的障害者更生相談所、リハビリテーションセンターなどで勤務。その後、奈良県立登美学園（福祉型障害児入所施設）施設長、奈良県中央こども家庭相談センター所長を歴任。臨床心理士、公認心理師、社会福祉士。著書に『子ども・家族支援に役立つ面接の技とコツ』（共著、明石書店）、『日本の児童相談所』（共著、明石書店）など他多数。</p>
	2日間（各7時間）※途中昼休憩等有り

【問合せ先】特別区職員研修所 教務第2課 児童相談研修係 TEL：03-6261-1313